る交渉 とに 渉 行 使 他 何 か、 業 交協い清 \subset な \subset |社が主張したことを守れ 務 た。 た。 ま 経 わ 業 な が 議渉 約 て掃 は、時 11 過 われ務 含 そ に 議 去 にの て論 \sqsubseteq れるはまれてのどれ 9 を のは 経 私 論 \mathcal{O} 改労に きを お たちが 交渉議 今 回 れ中何るのが 過で を行 ま 働 ま行い正 かの ²含ま

なっ

てき つ

ま も

な

事

録

を

持

て

61

は、

その

っており、 議論をして もとに主 ような \mathcal{O} 等 いような \mathcal{O} 張 その 議 論時 61 を 交がに た

過 去 の 交 渉 過 で 追 込 ん だ

不

ļ

Ţ

を

主

Ļ

会

社

大して

61

ま

ਰ

安

員清掃が問 題

お け 進 \mathcal{O} るその 間、 めてきた「乗 会社が 他 業 (務での 強 務 引 員

な

いとして

論 想

し

ま 7

を定

61 る

ようなことは

務で出

来る

 \subset

 \mathcal{O}

そ

 \mathcal{O}

7 の 在り方につ ことを回答し 時間 他 に満たっ 乗務が また、 業 務 10 分 を 基 いそ 本 $\overline{}$ \mathcal{O}

く て 掃 観 61 こと も を 点 出 か 5 ない当 使う」と 7 お 場 時 合に り、 は いう

た。 て を来た

強行する姿勢は許さない

 \mathcal{O} \neg

か、

等 上

れる

そとの の は の 他

くとその 来る」 \mathcal{O} 行 経過は大きました。 は 守らない な なく 社に つ としてこれま てきたことを答 は 他 事 当 業 協 なことであ 務 約 時 61 か らし を の け 読 交 な 交渉 で $\overline{}$ み 渉 弁 も

国労西日本本部 **NO.** 391 発行責任者 植田 重信 編集責任者 大北

国労西日本HP





Т

国労西日本

UNAG

組

し り し て ち を か 過 交渉 を探 切 見 1弁不 つけ り、 を再 す 会 社に ることができ 能 別 開 途 U なりま は \Box \subset 5交渉経 交渉を を設

負担 増で安全は 低下

は、

会務社の

他

業

Ċ

あ

7 る

時 が

後 を 乗 く務員は の労働 人口減 が 基 列 車 本の ※少を理 C 運 あ 転 り

担 T たちは決して良いとは思っ せることが を 61 か ま ! けせ h ては安全は ワンマン運 良 乗 61 務員 \mathcal{O} か、 寸 に n 負 私

れたことで、組合員が奮闘し問題点

1人の決意でもここまでのことが

職場環境を良くするために皆さん も国鉄労働組合に加入して声をあげ ませんか! おかしいことははっきりとおかし いと言うことが大事です。

乗務員の清掃問題で施策を止めた

いとして2月1日に国労加入してく

を追及してここまで来ました。

できるんです!

本来の労働組合の姿

い先 か メントでは 策を強行する姿勢 うことを誓っ 務です! を考えることが 全を低下させるような かりと経営陣からハこいと思いませんか。 ただきたい \mathcal{O} 1 ビスは 施 U つ か 安 全 りとし 低下 一陣からハラス 施 なく安全 を行 も た 最 会 会 優 なっ は 社 社 た C 先 て ਰ<u>ੋ</u> しっ お لح \mathcal{O} が 施 い全 7 か 施 安 責 しし

な

h

C

も

務

に

さ

曲で

離

 $\overline{}$

 \mathcal{O}

物

価

苦 労

T

いる労

働

還

İ

あ

明

る

い

答をお願

けら この あ 手当が低い」という理 会社の労働者にも生活 9 秋 61 れて が ط 間、 闘 お これまで以上に り りて 求められます。 満額回答をさせる いる貨 が 給料 超 始まり 低 年 会 社や 末手当闘 が 物会: 低 一答が ます。 61 社で 貨 会

かりとした賃金や手 離職を止めるため、 職が相次いでい 当を支払

企業とし ての責務

です。

闘うことで賃上げを!

って が á 者 額 力 る を提 厳し が 戍 か 労働 らこそ企業は 績を出してきて業 お 答をしますが、 交渉においてあら 供しなくなると いことを示 引を提供. 労働者が労 成り 超 て 労

たちにも生活がある

も感染リスクに怯えながてきました。コロナ禍で らも業務に励んできま これまでも一生懸命働 私たちにも生活があ

くかと思 なり貨 2024 かなか思うように ってい 物 年 輸 送 問 まし 題 \wedge 風 が たが話がり

多大な損害が出ま たりします 渉に応じて賃上げを行なっ イキを回避するために交 (ストライキ) ためにも会社はストラ ਰ 社に そ は

生活給 認めて 働 ま す。

者と

を労働 では は 低迷を 許 せ か な 会 者に ませ 社 理 も 押し 曲 その営業 が こにその 現 状で 付けるの 戍

貨物会社 ナスは

するの 良

ことで

そ な 11

感謝の言葉を態度で

内部

留保

へ溜

め込まず

家

族

 \mathcal{O}

幸せを考えて

元することが必要です!

ます ちが本当にあるのならしっ だきたいものです。 かりと態度で示してい いうようなことを言い なっており も 感謝をしていることを 会 が、 社はどのような場 貴労組に その 感謝 感謝する」 は の お 気持 た 話 面

https://docs.google.com/forms/d/1D-WPJNBG Z141oHhnEWzxwkopiZa1eevA4MAZC388CQo/edit?pli=1

今年もアンケート調査を行なっ ています。 の皆様のご協力を す。また職場で共に働よければ協力頂ければ < ŧ す け等を行ない、 取り組みを

るようにお願いします。

 \mathcal{O} 家 大事なものとなっ 族にはなくては な

ます てしまうと労働者もその ありますが、 家族からも信頼は失わ

か りと労働 口だけになっ 者 \mathcal{O}